



図2 四つ爪チャック



図3 バイト

5. 外部講師による実技研修

(社)宮崎労働基準協会技能講習講師である尾形久氏を講師に招き、初年度(22年度)は旋盤業務に従事する4名の職員が1月27日から3月31日までの週1回半日(計10回)旋盤の実技研修を行った。研修は、バイトの製作や旋盤の精度検査など、旋盤作業の基礎技術からはじまり、6回目からは技能検定2級受験を目指した実技課題製作を行った。研修内容の詳細は次の表1に示す。

表1 研修内容

1回目	超鋼ロウ付けバイトの製作(図4)	4回目	基本切削(仕上加工)の課題製作
2回目	旋盤の精度検査	5回目	ポリテクセンター宮崎にて研修打合せ・施設視察
3回目	基本切削(荒加工)の課題製作	6~10回目	技能検定2級普通旋盤作業の実技課題製作(図5)



図4 超鋼ロウ付けバイトの製作



図5 技能検定2級普通旋盤作業の実技課題

6. 研修結果

今回、技術センターより技術研修と認められ、職務に必要なスキルとして旋盤技能士取得のための技能研修を行った。また研修に必要な、材料・工具・測定器・外部講師派遣費用等を工学部長裁量経費にて、技能士受験費用を、ものづくりセンターより支援頂き、本年度2名受験し1名合格することができた。来年度3名の技能検定受験に向け、今年度も引き続き外部講師による技能研修会(2月、3月に実施予定)を実施する。

7. まとめ

この研修をとおして、旋盤技能士2級程度の技能を身に着けることができ、スローアウェイタイプの工具を使った旋盤加工の技術向上が図れた。研修で得た旋削技術による加工精度や加工能率の向上は、本年度のものづくりセンターにおける加工業務に反映されている。また外部講師に指導していただいたことにより、技術マニュアルに載っていない、経験に基づいた高度な加工技術を目の当たりにでき、若手職員にとっては良い刺激となった。また技能検定受験という高い目標ができ今後の仕事へのモチベーションができた。今回は、主に旋盤技能に特化したスキルアップを行ったが、フライス盤や放電加工、溶接などの研修を組織的に継続して行い、ものづくりセンターの加工業務が円滑に、さらに高い技術要望に応えられるようにしたい。また加工実習にて学生にも今回の研修を生かした指導を行っていきたい。

最後に研修の講師だけではなく、作業環境の改善、工具選定のアドバイス、旋盤の精度検査・補正、治具の製作など、多くの助言をいただいた尾形久氏、ポリテクセンター宮崎の講師の皆様、研修機器の使用にご配慮戴きました、ものづくり教育実践センター、池田清彦センター長へ厚く御礼を申し上げます。